協働テーマ

AI等を活用して気象情報や浸水センサーの情報をもとに、地下街からの避難指示等を迅速化したい！

課題

■何が課題となっているのか

地下街に浸水被害が生じた場合、現状では安全な避難経路を把握することができない。

■その課題をどのようにして解決したいのか

ICTやAIを活用したシステムにより、リアルタイムで安全な避難経路を算出し、安全な避難活動を案内できるようにしたい

■どのようなプロダクトの導入を期待しているのか

浸水情報や人流データなどのリアルタイムデータ等に基づき、AIを活用した防災避難計画案の作成方法の提案（コンサルティング、AIを使用したケーススタディの作成）

背景

■なぜ課題が生じているのか

- 気候変動等の影響により、ゲリラ豪雨等の激甚化・頻発化する豪雨に、より迅速な災害対応が必要
- 大規模な再開発により地下街等の出入口が増え、水が流れ込むおそれのある場所も増えている
- 多数ある出入口等に設置されたカメラやセンサー等の情報を、一元的に把握し活用することが困難

【参考】東京都地下空間浸水対策ガイドライン（令和7年9月改定）

https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/chisui/chikagai-shinsui/tikagaisinnsuitaisaku

現場からのコメント

- 避難計画案の作成に使用するAIは、汎用的なものを用いて欲しい
- クラウド／オンプレミス両方で使える汎用性・拡張性が高いシステムを作成するための助言をして欲しい
- 基盤となるシステムは東京都が別途開発するため、ご提案頂きたい内容は、当該システムに係る「避難計画案を自動作成する機能」です

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

都市整備局都市基盤部

（調整課施設計画担当）

- 総合治水対策・地下街等浸水対策・雨水しみこみプロジェクト等を所管
- 地下街等12地区をまとめる地下街等浸水対策協議会を運営